

第四系基底面標高

山形
YAMAGATA

活断層調査：八木浩司^{※1}、今泉俊文^{※2}、佐藤比呂志^{※3}、
後藤秀昭^{※4}、松多信尚^{※5}、越後智雄^{※6}、
丹羽俊二^{※6}

国土地理院
Geographical Survey Institute

^{※1}山形大学、^{※2}山形大学、^{※3}東京大学、^{※4}福島大学、^{※5}千葉大学、^{※6}国土地理院

記号 Legend

活断層 Active Fault Trace	最近数十年間に、概ね千年から数万年の期間で繰り返し活動してきたのが都市に接し、今後も活動を繰り返すと考えられる活断層。活断層の位置から位置が特定できるもの。
活断層(位置不確定) Active Fault Trace (site indistinct)	活断層のうち、活断層の位置が人工的改訂等により不確定なものであるもの。
活断層(活断層) Active Fault Trace (containing)	活断層のうち、震害から明らかでないが、活断層の位置が不確定なものであるもの。
活断層(存在) Active Fault Trace (containing)	活断層のうち、活断層の位置が不確定なものであるもの。
傾斜 Dip Slip	活断層の傾斜が水平方向のずれの向きを伴って傾斜している活断層。
傾斜 Dip Slip	活断層の傾斜が水平方向のずれの向きを伴って傾斜している活断層。
地震断層 Earthquake Fault	地震発生時に発生したことが明らかでない活断層。活断層の位置が不確定なものであるもの。
トレンチ調査地点 Trench Survey Site	活断層の活断層に調査地点(トレンチ)を掘り、活断層の位置を調査した地点。これまでに活断層の位置が調査された地点は、調査結果を参照。
活断層の名称 Name of Active Fault	活断層の名称。
推定活断層(地表) Presumed Active Fault (by prospecting data)	地質学的特徴により、活断層の存在が推定される活断層。この推定は、活断層の位置が不確定なものであるもの。
推定活断層(地下) Presumed Active Fault (by prospecting data)	新しい地層が堆積して、活断層の位置が推定される活断層。この推定は、活断層の位置が不確定なものであるもの。
活断層 Active Fault	活断層のうち、活断層の位置が不確定なものであるもの。
地形面の傾斜方向 Tilt/Slope Direction	地形面が、現在も傾斜している活断層の傾斜方向を示す。
上位段丘 Higher Terrace	活断層の両側の両側に形成された段丘が、約数十万年間に形成された段丘。
中段段丘 Middle Terrace	活断層の両側の両側に形成された段丘が、約十数万年前に形成された段丘。
下位段丘 Lower Terrace	活断層の両側の両側に形成された段丘が、約数万年前に形成された段丘。
沖積地 Alluvial Lowland	数千年から数万年の間に、活断層の両側の両側に形成された沖積地。地下に活断層の位置が推定される活断層がある。
扇状地 Fan	活断層の両側の両側に形成された扇状地。地下に活断層の位置が推定される活断層がある。
埋立地・干拓地 Filled-up Land	活断層の両側の両側に形成された埋立地・干拓地。地下に活断層の位置が推定される活断層がある。
地すべり Landslide	活断層の両側の両側に形成された地すべり。地下に活断層の位置が推定される活断層がある。
変位した谷 Offset Channel	活断層の両側の両側に形成された変位した谷。
火口・カルデラ Crater/Calders	活断層の両側の両側に形成された火口・カルデラ。
活断層の表面 Surface of Muflow	活断層の両側の両側に形成された活断層の表面。

図法・資料

投影法：ユタカ投影法(メルカトル法)
 1. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 2. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 3. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 4. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。

利用上の注意

1. この図の特長
この都市圏活断層図は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 2. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 3. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。
 4. 活断層の位置は、活断層の位置に関する最新の調査結果に、地形分類を踏まえて作成した。

1:25,000 山形

500 0 500 1,000 1,500

平成12年調査・編集
 平成13年12月発行
 国土地理院
 編集者 佐藤比呂志
 編集者 今泉俊文
 編集者 八木浩司
 編集者 後藤秀昭
 編集者 松多信尚
 編集者 越後智雄
 編集者 丹羽俊二

出典：
「山形盆地の地下構造-村山市浮沼の調査試錘を中心として-」第4図
山形井徹、山形応用地質(第5号)1985年3月

上記資料を基に「都市圏活断層図「山形」：国土地理院」に加工して作成している。

山形設計株式会社

〒980-0801 山形市青葉区山形1-1-1
 TEL 023-625-1111 FAX 023-625-1112
 〒980-0801 山形市青葉区山形1-1-1
 TEL 023-625-1111 FAX 023-625-1112

第四系基底面
数字は標高(m)

▲ 沖積/洪積の境界面までの深度(m)

